

2024 年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画

千葉愛友会記念病院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善のため下記の項目について継続的に取り組みをおこないます。

1. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する体制

- 1) 看護職員の負担軽減及び処遇改善の関する責任者 看護部長 稲見 時子
- 2) 看護職員の勤務状況の管理
勤務時間：週平均 40 時間以内、連続勤務 5 日以内、日祝休みを月 1 回以上確保
勤務状況・有給取得率・時間外業務の把握、指導
夜勤勤務：明けの翌日は原則休み、夜勤時間 16 時間のうち休憩 2 時間（仮眠を含む）
夜勤平均回数 5 回以内/月、夜勤は連続回数 2 回まででその後 2 日間休暇確保
- 3) 多職種からなる役割分担推進のための委員会及び会議 病院機能評価委員会（1 回/月）
- 4) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画
計画策定、年に 1 回見直し、職員への周知(部署内掲示)
- 5) 看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する取り組みの公開 院内掲示

2. 多職種連携

部署	項目	取り組み
リハビリ科	抑制最小化 日常生活で訓練 嚥下評価 患者スケジュール共有	認知症患者対応（院内デイ活動） 患者の送迎、更衣・オムツ交換 嚥下評価の支援 リハビリ介入時間を共有、イベント共催
検査科	検査・指導の実施	採血、自己血糖測定 of 指導
放射線科	検査の介助 抑制最小化	検査の準備、検査治療の補助、介助、事後処理の補助（造影剤投与ルート抜針）患者の移送 認知症患者対応（院内デイ活動）
臨床工学科	医療機器の管理	24 時間コール対応 日常的に医療機器の点検と修理・管理 内視鏡下手術でのカメラ持ち
薬剤科	病棟業務の拡大 夜間祝日の薬剤管理・調剤 持参薬管理、薬剤処方箋管理	処方箋管理、医師との連携、配薬カート内に薬剤セッティング、薬剤中止や変更指示の対応、ミキシング、夜間休祝日薬剤師配置、持参薬管理、カルテ入力、入外処方箋院内監査、医師確認、
栄養科	栄養管理	食形態の選択や相談 アレルギー食品の除去と周知、
診療情報管理室	カルテ管理	カルテ監査、スキャン書類確認 クオリティーインディケーター情報管理と共有

医事課	カルテ入力管理 院内データの管理 抑制最小化	コスト・カルテの整合性確認と管理 入院外来のデータ管理と情報共有 入院時の手続き、日用品セットリース使用状況把握、面会制限中ご家族と病棟との中継 認知症患者対応（院内デイ活動）
地域連携課	転院・紹介の調整	各種問い合わせの窓口業務
医療相談室	入退院支援 患者相談	医療ソーシャルワーカーと退院支援看護師と協働、社会資源・介護保険などの情報提供
看護部	看護補助者の配置強化 身体介助なし看護補助者の採用	配置人数の増員、業務改善や業務の細分化 時間外労働の状況確認、改善策実施 機器の導入による業務負担軽減

2) 勤務環境、処遇改善

項目	取り組み
妊婦、子育て中の職員へ配慮	院内保育室の運用(夜勤も可能)、夜勤免除や軽減、時短勤務・育休延長制度、子の看護休暇、自己研鑽サポートとしてe-ラーニング使用
復職の促進	復職支援（見学・体験）、復帰部署の相談や職務に戻りやすい体制
勤務配置転換	職員の要望や育成・勤務時間に配慮した配置転換（随時対応）
看護補助者配置数の増員	夜間補助者数増員、各部署補助者増員
看護部クランク事務配置	外来部門で看護事務採用2名
有給休暇取得の促進	他院の取得状況のデータ共有、看護管理者へ取得状況報告し促す
配慮した勤務作成	明けの翌日は原則休み、原則連続勤務5日まで年間120時間、月10日休暇 早遅番勤務配置による繁忙時間帯の業務分担 外来部門の残番勤務で外来延長時対応者の明確化、業務に必要な研修や院外活動・グループ行事の勤務扱い
多様な勤務形態	時短勤務、夜勤免除、フレックス制、
夜勤勤務の負担軽減	勤務間隔11時間以上確保、連続夜勤2回まで連続夜勤後2日間の休暇確保
看護職員の適正配置	法令人数配置により余裕ある配置へ増員 看護職員の募集活動、採用活動
メンタルサポート	院内ハラスメント窓口設置、希望者には外部委託のカウンセリング実施、チーフ・部長面談

